

町村をむすぶ

MIYAGI 宮城町村会だより

<https://www.miyagi-ck.gr.jp>

2022
6-7
Vol.509



モリリン加瀬沼公園

加瀬沼は利府町・多賀城市・塩竈市にまたがる周囲約4kmの巨大なため池で、冬は渡り鳥の飛来地として白鳥などが集まります。周辺の公園は、1年をとおしてお花見や芋煮会など、多くの家族連れで賑わうレジャースポットになっています。

町村会のうごき

共済事業アレコレ

町村通信21 ～涌谷町～

黄金花咲く交流の郷の実現を目指して
—黄金に輝く地域の宝を活かしたまちづくり—

写真・文 提供／利府町

政務委員会

令和5年度政府予算等への要望を審議

6月30日、県自治会館において政務委員会を開催し、「令和5年度政府予算編成並びに施策に関する要望」を審議しました。要望事項は、5月25日開催の政務委員会幹事会（町村企画財政課長等で構成）で委員会への提案事項を取りまとめており、これをもとに各部会で審議しました。

●総務建設部会では、東日本大震災の復興事業、町村財政基盤の強化、地域連携事業の推進、デジタル化施策の強化推進など。

●産業経済部会では、農林水産業の支援と振興策の充実、地域産業の育成と再生可能エネルギーによる地域振興など。

●厚生文教部会では、新型コロナウイルス感染症に対する体制整備について、学校教育の充実、子育て支援や障害福祉施設の対策など。

各部会では、町村長から要望についての修正案やご提案をいただきました。

この審議結果をもとに要望内容を修正し、8月3日、4日に宮城県関係国会議員や政府与党・関係省庁へ要請活動を行います。



町村長会議

6月30日、県自治会館において令和4年度第1回町村長会議を開催いたしました。



新監事

保科 郷雄

(丸森町長)

会議では宮城県町村会規約の一部改正、欠員になっていた本会監事の選任などが議題とされました。審議の結果、保科郷雄丸森町長が新監事に選任されました。

また、令和3年度宮城県町村会一般会計歳入歳出決算ほか2会計の令和3年度決算の認定、令和4年度宮城県町村会一般会計歳入歳出補正予算の専決処分認定についても審議され、原案の通り認定されました。

その他、JETRO仙台貿易センターの運営経費負担金及びみやぎ青年婚活サポートセンターに対する支援について説明がありました。

お悔やみ

鹿野 文永氏



宮城県町村会
長を3期務められ(2001)2006、全
国町村会副会長

(2003)2006)などを歴任した元鹿島台町長、鹿野文永氏が令和4年5月13日永眠いたしました。

平成の大合併の激動の時代、町村会長として強力な指導力を発揮されました。

ご冥福をお祈りいたします。

災害見舞金贈呈式

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により、大きな被害が生じた県内14町（蔵王町、大河原町、村田町、柴田町、丸森町、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、涌谷町、美里町）に対し、本会から災害見舞金を贈呈いたしました。

5月27日に行われた贈呈式には、被災された13町長（丸森町長は公務により欠席）にお集まりいただき、櫻井会長から目録を手渡されました。



―町村長を代表し櫻井会長発言―

5月27日、仙台市内（江陽グランドホテル）において、県主催の市町村長会議が開催されました。本会から櫻井公一会長ほか全町村長が出席しました。席上、櫻井会長が町村長を代表し、宮城県知事に対し次の事項を要望いたしました。

①新型コロナウイルス感染症対策と観光振興について、若者のワクチン接種率の加速化と、4回目のワクチン接種における市町村の接種計画策定に向けて、ワクチン供給量、基礎疾患の範囲の明確化などの正確な情報の提供。観光地の事業者や労働者への支援対策として、地域経済の景気回復の起爆剤となる支援事業を要請。

②自治体のデジタル・トランスフォーメーションの推進について、県による外部情報系専門人材の確保と、市町村への定期的派遣スキームの構築を要請するとともに、システム改修・維持管理に対する十分な国の財政支援を要請。

③農林水産省の水田活用直接支払

交付金について、（ア）飼料用米等の複数年契約加算の見直し、（イ）5年間水張りしない水田は交付対象外（ウ）多年生牧草に対する助成単価の見直しなどが行われ、生産者に厳しい状況であることを指摘するとともに、特に良質の牧草生産には複数年育成が必要であることから、畜産・酪農の支援のため県単独補助の検討を要請。



町 村 長 選 挙

任期満了に伴う亘理町長選が5月17日に告示され、現職の山田周仲氏が無投票により当選されました。

亘理町長

山田 周仲氏
やまだ ひろのぶ



●プロフィール

1963年 亘理町生まれ
2018年 亘理町長（1期）
2022年 亘理町長（2期）
*5月28日就任

「豊かな心と活力が溢れる 亘理」の実現

新生児からシニア世代の方まで町民の皆様が暮らしやすいまちとなるように、認定こども園の早期開設、本町の基幹産業である農業と水産業の担い手育成や新たな雇用創出の企業誘致を加速させ、町民一人ひとりが豊かな心と活力で溢れる亘理の実現に向け、取り組んで参ります。

町村会日誌



5月

▼25日 政務委員会幹事会（県自治会館）

▼27日 災害見舞金贈呈式（江陽グランドホテル）

▼27日 県主催市町村長会議（江陽グランドホテル）

6月

▼2・3日 災害共済事務担当者会議（県自治会館）

▼17日 全国町村会正副会長会（全国町村会館）

▼17日 全国町村会政務調査会、理事会（全国町村会館）櫻井会長出席

▼17日 全国町村職員生活協同組合総代会（全国町村会館）櫻井会長出席

▼22日 監事会（県自治会館）

▼23日 北海道東北六県町村会会長会議（岩手県）櫻井会長出席

▼27日 宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会（県自治会館）

▼30日 町村長会議（県自治会館）
▼30日 政務委員会（県自治会館）



日本遺産「みちのくGOLD浪漫」構成文化財
黄金山産金遺跡のシンボル金の鳥居東大寺大仏殿に献納された
涌谷町産「金のいぶき」現代の金として
ブランド化を推進する
金のいぶき

中でも、全国に誇る「日本初の産金の歴史」は、日本を代表する100のストーリー「日本遺産」として文化庁に認定され、黄金山産金遺跡を中

今後も、先人が築き上げ、守り続けてきた地域資源を活かしながら、持続可能な地域社会づくりに一層取り組んでまいります。

んでまいります。

涌谷町は、令和元年9月から町財政の健全化を図るための財政再建計画に取り組みながら、これまで地域が育んできた歴史や産業、自然などを活かしたまちづくり「第五次涌谷町総合計画」を推進しています。令和4年度からはその後期計画の期間として、「黄金花咲く交流の郷」の実現に向けてさまざまな事業に取り組んでまいります。

心にも、文化財の利活用による交流人口の増加を図っております。

また、涌谷町が「現代の金」としてブランド化を推進してきた高機能性玄米食専用米「金のいぶき」は、コロナ禍における健康志向の需要にマッチし、米価が上昇する追い風が吹いています。令和4年度には、単独自治体としての作付面積が最大規模となりました。

町村通信

21

涌谷町

※県内21の町村からお伝えします

黄金花咲く交流の郷の実現を目指して —黄金に輝く地域の宝を活かしたまちづくり—

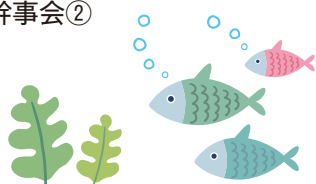
町村会の予定

7月

- 10日 市町村職員採用統一試験
- 21～22日 北海道東北六県山村振興ブロック会議
- 27～28日 行政課題研修Ⅲ

8月

- 3日 令和5年度の政府予算編成並びに施策に関する要望—宮城県関係国会議員への説明会
- 4日 同上一要請活動
- 8日 税務課長代表者会議
- 24日 宮城県町村会創立100周年記念式典
- 31日 政務委員会幹事会②



*新型コロナウイルス感染予防のため、日程が変更になることがあります。

共済事業アレコレ

自動車事故にあったときには

自動車を運転していれば、いつ事故に遭うかわかりません。事故が発生したら以下のような点に注意して焦らずに対処しましょう。

●けが人・損害の確認と危険防止措置

けが人がある場合、速やかに救護し、必要なら救急車を手配するとともに、事故車を安全な場所に移動させるなど、路上の危険防止措置を行ってください。

その後、損害状況を確認し警察に通報してください。通報しなかった場合、事故証明書が取得できず対応できない場合もあります。

●口頭で賠償の約束をしない

事故の過失割合は過去の判例などを参考に交渉しますが、動いている車同士の事故であればほとんどの場合お互いに過失が発生します。

事故現場で相手への賠償を約束してしまうと、後々の交渉に差し支える可能性がありますので、ご注意ください。

●事故処理が終わったら

現場での事故処理が終了したら、休日夜間でも対応可能な事故受付フリーダイヤルでご連絡ください。受付後は交渉担当者がお相手との示談交渉にあたらせていただきます。

事故受付フリーダイヤル TEL 0120-258-459

宮城県町村会事業推進課 TEL 022-221-9203

円満な事故解決のため、ご契約者様の適切な初動対応と迅速な連絡をお願いします。